

2024年5月28日

報道関係各位

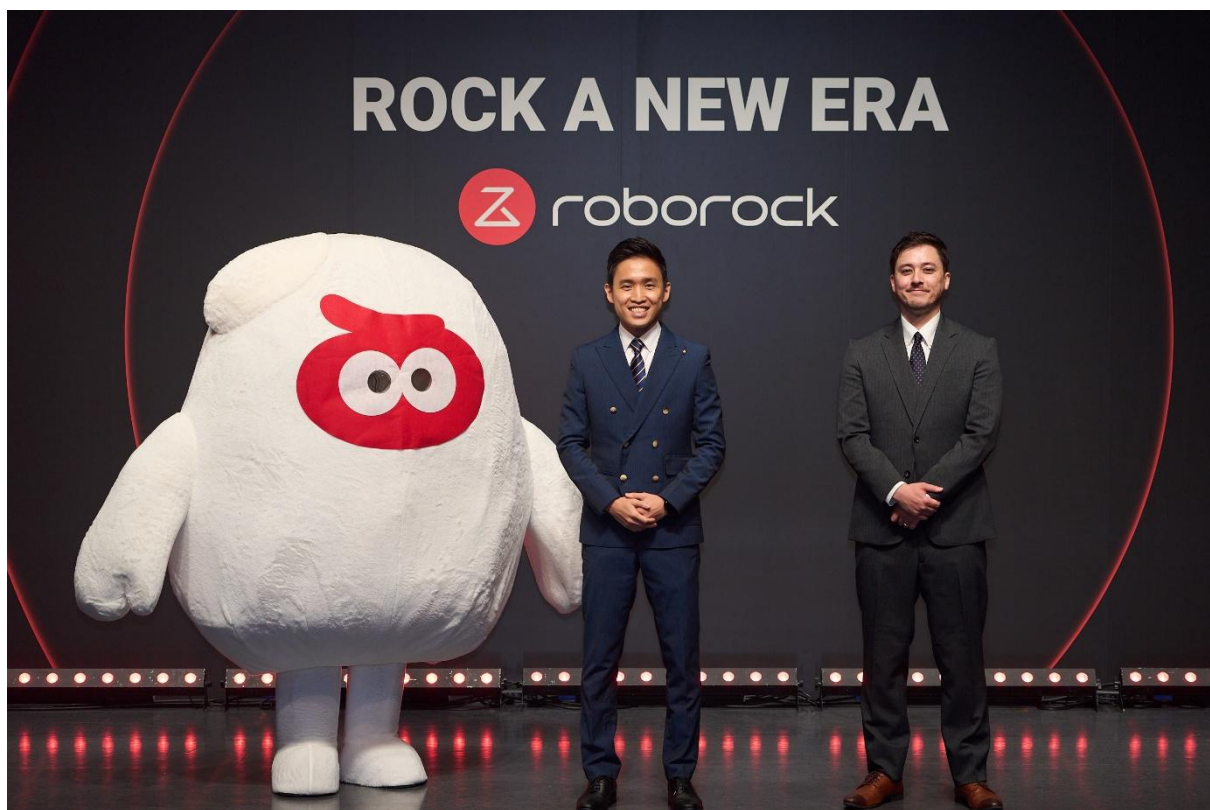
**Roborock、最新技術を結集した新製品全7機種を一斉発表
～グローバル・日本市場における戦略を説明、日本で新たに発売する製品の発表会を実施～**

ロボット掃除機やスティック掃除機を製造・開発する「Roborock（ロボロック）」を展開するBeijing Roborock Technology Co.,Ltd.（本社：中国北京、CEO：Richard Chang）（以下「同社」）は、2025年5月27日（火）に、ロボット掃除機フラッグシップモデル「Roborock Saros 10」

（ロボロック サロス イチゼロ）（以下『Saros 10』）をはじめとした、新製品全7機種を発表する記者発表会を開催いたしました。

また、発表会終了後、メディア関係者の皆様に向けて、CES2025にて発表した世界初のロボットアームが搭載された量産型ロボット掃除機「Roborock Saros Z70」（ロボロック サロス ゼット ナナゼロ）（以下『Saros Z70』）を含む全11種の最新機種の展示や、一部製品のデモンストレーションを行いました。

当記者発表会では、同社の担当者より、グローバル・日本における実績および戦略を紹介しました。また、『Saros 10』を中心とした、新たに日本で発売される掃除機全7製品の主な機能と特長を紹介しました。



■ Roborockのグローバル・日本における実績と戦略の発表



Beijing Roborock Technology Co., Ltd. Dan Cham
(APACマーケティング責任者)

冒頭では、同社のAPACマーケティング責任者、Dan Cham（ダン・チャム）より、同社の最新技術を搭載した『Saros Z70』を紹介しながら、革新への揺るぎないこだわりについて語りました。

また、米IDC社が行った調査※において、同社が2024年の世界のロボット掃除機市場で、出荷台数・売上金額の双方でNo.1を記録したことについて、お客様へ感謝を述べました。

最後に、グローバルにおける実績と今後の展望として、「私たちは研究開発への投資をますます拡大し、2019年以降の累計投資額は600億元を超えました。現在、同社の製品は、世界230か国・地域で150万世帯にご利用いただいております。」と語ったうえで、「2024年第一四半期と比較し、2025年第一四半期の同社の日本市場でのシェアは2倍に成長しました。この成長は、日本のご家庭から寄せられた信頼の証で、これからもその信頼に応え続けることをお約束します。」と日本市場への思いを伝えました。

※ 2025年3月「世界スマートホームデバイス市場調査 2024年Q4」

■ 『Saros 10』をはじめ、日本で新たに発売となる全7機種を一斉に発表



Beijing Roborock Technology Co., Ltd. アンダーソン勇介
(日本PRマネージャー)

続けて、同社の日本PRマネージャー、アンダーソン勇介が登場し、『Saros 10』を中心とした、日本で新たに発売となる全7機種を一挙に紹介するとともに、各製品の特長および同社の最新技術についてご紹介しました。まず、同社のフラッグシップモデルとなるロボット掃除機の『Saros 10』について、「Roborock史上最も薄型のモデルであり、本体の高さがわずか7.98 cmの薄型設計に関わらず、あらゆる掃除に対応できるスマートかつパワフルなロボット掃除機です。」と、製品の強みについて説明したうえで、当製品に搭載されている最新技術を紹介しました。



次に、ミドルモデルの全自動ドッグを搭載したロボット掃除機『Qrevo C』と、コンパクトなボディサイズながら、パワフルな吸引力を誇るエントリーモデル『Q10V』『Q7T』について、お求めやすい価格でありながら、Roborockのスマートな掃除体験をご体感いただけるモデルであるをご紹介しました。



左から「Qrevo C」「Q7T+」

当発表会にて発表した新製品

- 「Roborock Saros 10」(ロボロック サロス イチゼロ)
- 「Roborock Qrevo C」(ロボロック キューレボ シー)
- 「Roborock Q7T+」(ロボロック キューナナティープラス)
- 「Roborock Q7T」(ロボロック キューナナティー)

■ メディア関係者の皆様に向けた新製品体験会を実施



発表会の後、多くのメディア関係者の皆様に、CES2025で発表した世界初のロボットアーム「OmniGrip」が搭載された量産型ロボット掃除機『Saros Z70』を含む全11機種種の展示や、『Saros 10』、『F25 シリーズ』のデモンストレーションを実施し、同社の最新技術をご体験いただきました。

【『Saros 10』について】



- 新開発の自動昇降式のLDSレーザーセンサーと、上方向のToFセンサーの組み合わせで低い空間でもスムーズで高い精度のマッピングを実現
- 3重構造の物体を検知するストラクチャードライトとRGBカメラを搭載し、より正確に障害物を検出
- 四隅を100%※¹カバーする自動で伸びるサイドブラシ、
- 本体は7.98cmの超薄型設計ながらRoborock史上最高の2万2,000Pa※¹の吸引力を実現
- 毛の絡まりを防ぐ「デュアル毛がらみ防止ブラシ」※¹を搭載
- 最大4cm（二層）を乗り越えるリフトアップ機能を搭載
- 振動エリアが26%※²拡大し、毎分4,000回の高速振動と高加重による優れたモップの水拭き性能
- 最新の8 way全自動ドックでメンテナンスの手間を最小限にとどめる

【製品の詳細】

<https://www.roborock.jp/products/saros-10/>

【Qrevo Cについて】



- 毛の絡まりを防ぐ「デュアル毛がらみ防止ブラシ」※¹を搭載
- 最大毎分200回的高速回転による水拭き性能
- 高さを4 cm抑え※³、本体幅よりもスリムでスッキリ置けるコンパクトサイズのドック

【製品の詳細】

<https://www.roborock.jp/products/grevo-c/>

【Q7T+ / Q7Tについて】



- Roborock史上最小ボディかつ、パワフルな1万Pa※⁴の吸引性能
- 本体に280ml※⁵の大容量タンクを搭載し、3段階でモップの水量変更が可能
- LDSレーザーセンサーを搭載し、高精度なマッピング機能で効率的で賢い掃除を実現
- 紙パック式自動ゴミ収集ドック搭載※⁶で、約60日分※⁷のゴミ収集が可能（「Q7T+」のみ）

【製品の詳細】

<https://www.roborock.jp/products/q7-t/>

※¹ 実際の結果は、使用状況などによって異なる可能性があります。国際的な第三者認証機関である、TUV（テュフ・ラインランド）とSGSの認証取得。

※² 稼働するモップエリアは「S8 MaxV Ultra」に比べ26%拡大。

※³ 「Q Revo」との比較。

※⁴ Roborockの社内テストによる結果。吸引力の値は国または地域、住居環境などによって異なる場合があります。

※⁵ 「Q7T」は270ml。

※⁶ 「Q7T」には自動ゴミ収集機能はありません。

※⁷ 部屋の環境などにより収集できる日数は変わります。

【Roborockについて】

「Beijing Roborock Technology Co.,Ltd.」が製造するロボット掃除機。AI、アルゴリズム、各種高精度センサーによる効率的でスムーズな動きといった独自の先進機能と、業界最高レベルの吸引力、水拭き同時対応といった優れた基本性能を兼ね備えるのが特長。また、1,000種類の品質管理テストや38種類の認証の取得など、高い製品品質を提供しています。「Beijing Roborock Technology Co.,Ltd.」は、2014年に設立し、家庭用掃除機の研究開発・生産を専門としており、製品の技術力やデザイン性が評価され、グローバルでさまざまな賞を受賞しています。2020年2月に上海証券取引所に上場。累計1,571万台以上を販売しており、170か国以上の国と地域で使用されています（2023年12月末時点の実績）。

●その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

●掲載内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なく変更となる場合があります。

【製品に関するお問い合わせ】

Roborockカスタマーサポートセンター

E-mail : support@roborock.co.jp

営業時間：午前10時～午後5時（土日祝を除く）

<本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先>

Roborock広報事務局

株式会社プラップジャパン 担当：中島・西田・李

TEL：03-4580-9156/ MAIL：roborock_pr@prap.co.jp